

社会福祉協議会(社協)は、地域福祉を推進する民間の団体です



No.154

社 協

みなみあしがら

座禅で「集中!!」



夏休み寺子屋 7月25日「お寺で過ごそう」

発行

社会福祉法人南足柄市社会福祉協議会・共同募金会南足柄市支会

〒250-0105 南足柄市関本403-2 南足柄市りんどう会館1階

TEL 0465-73-1575 FAX 0465-74-3276

ホームページ <http://www.minamisyakyo.or.jp> E-mail soumu@minamisyakyo.or.jp



○この広報誌は、皆さまから寄せられた社協会費、共同募金の配分金、企業広告費から作成されています。南足柄市社会福祉協議会では、来所時に健康状態の確認、マスクの着用、手指の消毒などをお願いしています。ご協力よろしくお願いいたします。



「おだわら子どもも防災」の方を講師に迎え、ヴェルミ3「にこっと」で、地震が起こった時どのような行動をとれば良いかを考えるカードゲーム“なますの学校”を行いました。人を助けるにはどの道具を使うと良いか、食料はどのようなものが適しているかなどを考えました。講師から「なぜ、そのカードを選んだのか」「その道具をどのように使うのか」という問い合わせにチームで考えながら回答。子どもたちは自由な発想をしながら、楽しく防災を学びました。



今年度で5年目となる子どもの居場所作り事業“寺子屋”。コロナ感染症の影響もありましたが、今年の夏も、さらにパワーアップしてさまざまなプログラムを実施しました。

※その他予定していた10のプログラムについては、市内での新型コロナ感染症拡大傾向のため中止とさせていただきました。

南足柄でできる体験を、 夏休みだから

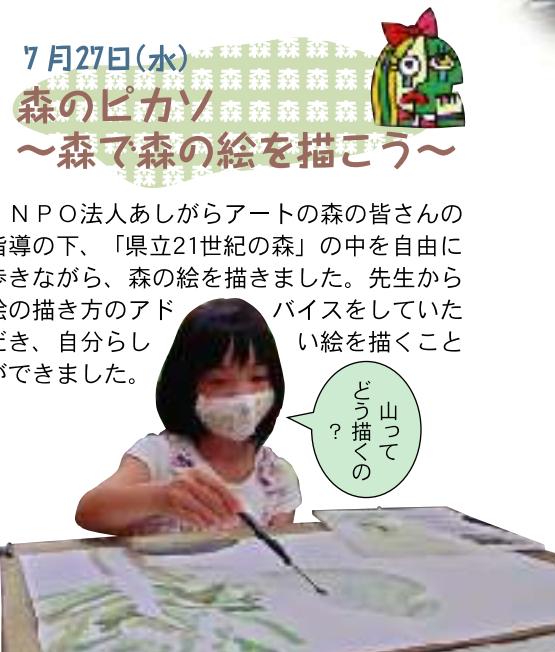
夏休み寺子屋



弘西寺の弘済寺で、玉野真永住職の指導の下、作務(掃除)・座禅・写経を体験しました。また、お昼ごはんは弘西寺地域福祉会(古田幸夫会長)の会員の皆さんによる野菜たっぷりのけんちん汁など、お寺ならではのメニューに加え、からあげなどのご飯に舌鼓を打ちました。子どもたちは終始真剣に取り組み、「遊ぶ時も勉強するときも、集中したいときは座禅を組んで気持ちを落ち着かせたい」と話していました。



NPO法人あしがらアートの森の皆さんの指導の下、「県立21世紀の森」の中を自由に歩きながら、森の絵を描きました。先生から絵の描き方のアドバイスをしていただき、自分らしい絵を描くことができました。



(3)



7月28日(木)
バス遠足
～プラネタリウム鑑賞～

伊勢原市立子ども科学館へ行きました。プラネタリウムでは、学芸員の説明に子どもたちは目を輝かせながら聞き入り、満天の星空を楽しみました。子ども科学館内では、グループに分かれて実験をしたり、展示を見たりしました。お昼ごはんは障害をもつ方が働くカフェで一息。他校の子どもたちとも交流し、楽しい夏の思い出を作ることができました。



7月29日(金)
ハッピーパン教室

毎年大好評のパン工房ハッピーの皆さんによるパン教室。今回も、生地の練り方から丁寧に教えていただきました。パン作りは初めてという子どもたちでしたが、自分だけのパンを一生懸命作りました。



8月23日(火)
はやぶさ博士になろう!



文化会館小ホールでJAXAの吉川真さんに、はやぶさ2のミッションについてお話ししていただきました。探査機はやぶさ2の仕組みや小惑星リュウグウについて、子どもたちは興味深々に話を聞きました。はやぶさやイトカワ、リュウグウの模型を触り、宇宙に想いをはせました。



社会福祉大会が開催されます！



11月19日(土) 13時30分～
文化会館小ホール（金太郎みらいホール）

社会福祉協議会では、社会福祉への功労や、社会福祉活動に協力、援助された団体や個人の方に対し、感謝の意を表し、その功績をたたえる場として、年1回社会福祉大会を行っています。今年の大会内容についてご案内します。



昨年の「ふくしの標語」
表彰式の様子



笑福亭学光さん

第一部は長年にわたり福祉分野で活躍されている方への表彰状・感謝状の贈呈及び「ふくしの標語」の優秀作品の発表と受賞者の表彰が行われます。

※「ふくしの標語」：将来を担う市内の小学生を対象に、日々の生活の中で「福祉の心」を育み、ともに生きるまちづくりを考えるきっかけとなることを願い、募集を夏休みに行いました。

第一部は、銀行員から落語家となり、お笑い+福祉の観点から全国の地域寄席・老人ホームなどで福祉落語の普及に努めている、笑福亭学光（しょうふくていがつこ）さんをお招きします。今回は「お笑いで福祉の町づくり」をテーマに、講演と落語を披露していただきます。事前申込不要・入場無料です。皆さまお誘い合わせの上、ご来場ください。

社協賛助会員を募集しています

社協では、「いつまでも 健康で人がつながり支えあうまち 南足柄」をスローガンに、皆さまの協力と参加を得て、行政の制度では行き届かない地域福祉活動を進めています。賛助会員は、社協の趣旨目的に賛同していただける個人及び法人の皆さまに自主的に加入いただくもので、いただいた会費は地域福祉を支える大きな力として、活用させていただいております。今年度も活動の活性化をめざし、努力してまいりますので、多くの方のご賛同をお願いします。



地域への出前講座

会費を活用している事業



食料配付会の準備

賛助会費 一口 5,000円 (個人、法人問わず社協を支援していただける方)

各世帯の皆さんにご加入をお願いしている一般会員につきましては、各自治会に取りまとめを行っていただきました。ご協力ありがとうございました。

材料
1人前

オートミール	…30g
卵	…1個
水	…1カップ
粉末わかめスープ (お吸い物やお茶漬けの素などでも)	…1袋

オートミールは、脱穀したオーツ麦（全粒）を調理しやすく加工したもので、災害時に不足しがちなたんぱく質、ミネラル、食物繊維をしっかりととることができます。少量で満腹感を得られ、腹もちがよく、調理方法が簡単です。

※ローリングストックとは…日常的に非常食を食べて、食べた分を買い足すということを繰り返し、常に新しい非常食を備蓄する方法。



【作り方】

●耐熱容器に卵を割り、他の材料をすべて加えて混ぜ合わせます。

●電子レンジの場合

ふんわりとラップをかけて電子レンジ(500W)で2分～2分半加熱して出来上がり。

●鍋の場合

弱火で5分程度(ときどきかき混ぜながら)煮て出来上がり。

●スープジャーの場合

※材料が水でなく、お湯1カップに変わります。あらかじめお湯で温めておいたスープジャーにすべての材料を入れ、蓋をして30分程度で出来上がり。



オートミール卵雑炊

連載企画 第3回



災害時やローリングストックの消費に活躍するレシピを連載しています。今回は、「地域の身近な栄養士」として宅配弁当事業や栄養相談、食育事業等を運営しているあしがら栄養サポート代表管理栄養士の高瀬洋子さんにレシピを教えてもらいました。

災害時お役立ちレシピの紹介

※皆さんからのレシピを募集。ぜひアイデアをお寄せください。ボランティアセンター72-2299 メール minamivc@muse.ocn.ne.jp

地域での活動紹介

カーレットでつながろう! 各地で交流会を実施



狩野カーレットクラブ



内山・下怒田福祉会



竹松福祉会



北足柄地区

コロナ禍により、しばらく地域の交流が途絶えていましたが、コロナ感染状況を見極めながら、カーレットを使った交流が始まりました。

竹松福祉会では、今年度から“カーレット実行委員会”が始動。世代間交流の場となっています。

内山福祉会・下怒田福祉会

交流会としてカーレットを実施。両地区初めてとなる会員同士の交流で、初対面の人も多くいましたが、お互いに応援し合い楽しい交流会になりました。

狩野

では、毎週木曜日に筏場分館でカーレットクラブが活動中！毎回8名ほどのメンバーが集まり、2台のカーレット台に分かれて試合をします。敵味方関係なくアドバイスをして和気あいあいとした雰囲気で楽しんでいます。

※カーレットとは…卓上で行われるカーリング。ルールはカーリングと同じで、中央のストーンの個数で点数が決まる。障がいのあるなしに関わらず、ゲームを楽しむことができます。

異動

採用
▽地域福祉班
早野 関正明 優花

6月16日付



子どもたちの
しあわせのために

里親制度をご存知ですか

子どもの成長には、家庭で暮らす時間や経験がとても大きな役割を担っています。さまざまな事情により自分の家族と暮らせない子どもたちがいます。そうした子どもたちを自分の家庭に迎え入れ、正しい理解と温かい愛情で成長のサポートをする人が「里親」です。



Q
子育て経験が
なくとも
できますか？



Q
仕事をして
いても
できますか？



Q
子どもを育てる
ための
養育費は？



Q
資格は必要？



Q
里親と
養子縁組は
同じ？

できます。
お仕事をしながら
(共働きを含む)
活動している方も
います。

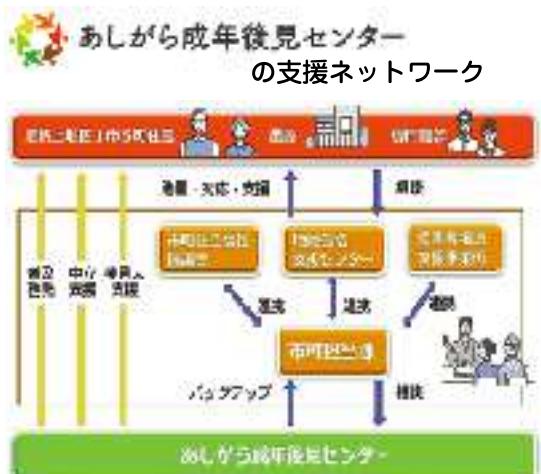
できます。
必要な知識を研修
で学び、児童相談
所や里親会、里親
支援専門相談員が
随時支援します。

子どもの養育費と
して里親手当、生
活費、学校教育費
など、必要経費が
支給されます。

所定の研修受講等
一定の要件を満た
していれば特別な
資格は必要ありま
せん。

里親=養子縁組
ではありません。
里親を希望される
人の環境に合わせ
て様々な里親活動
があります。

お気軽にご相談ください 問合せ ■ 児童養護施設 城山学園 62-8501 ■ 小田原児童相談所 里親担当まで 32-8000(代表)



「認知症などによって判断能力が低下し、自分でお金を管理することが難しくなった」、「福祉サービスを利用したいが自分で契約できない」、「障害のある子どもの将来が心配」、「成年後見制度の内容や手続きの手順が知りたい」などといった困りごとがあつた際には、まずはお近くの市町の行政や社協等の相談窓口にご相談下さい。

経験豊かなシルバーパワー
いろいろお手伝い致します

- ☆植木の剪定や除草
- ☆お掃除や襖張り
- ☆親切なパソコン教室
- ☆デジタルカメラ撮影講座
- ☆こどもの一時預かり



お気軽にお問い合わせください



南足柄市シルバー人材センター
〒250-0113南足柄市岩原1016-1おかもと福祉館内
TEL.0465-72-0789 FAX.0465-73-4055

福祉用具・販売・レンタル・住宅改修
**メディカルサービス
おがもと**

南足柄市福泉24-9
TEL 73-3995

営業日 月~土曜日
営業時間 午前9時~午後6時(月~金曜日)
午前9時~午後5時(土曜日)
休業日 日曜・祝祭日

健康 麻雀 10時~16時
どなたでも参加できます
**無料体験会
開催中**
0465-20-3481
おぎくぼクラブ
〒250-0042 小田原市駅前362 第1オキワビル202
（JR小田原駅徒歩5分）

赤い羽根共同募金

10月1日から
始まります。

小さな思いが大きな力に!
共同募金は私たちのまちを
住みよくしていくために
役立てられます



駅前で

▲昨年度、大雄山駅にて

2022年度の共同募金PR大使は、野毛山動物園のオグロワラビー「オハナ」。オハナとはハワイ語で「家族または親しい関係者と家族的な絆で支えあう」という意味があり、赤い羽根共同募金のテーマ「つながりをたやさない社会づくり」の実現に願いをこめて選ばれました。



- 地域福祉会への助成・支援
- 福祉車両による移送サービス事業
- ボランティア関係団体への助成
- 生活困窮世帯への緊急支援
- 広報誌の発行などの情報発信
- 権利擁護活動
- 災害時に備えた研修会等の開催

いただいた募金は、神奈川県共同募金会に送金し、県内の社協の事業費や社会福祉施設の整備費などに配分されます。配分された募金は次のような事業に活用されます。皆さまからの温かいご支援、お待ちしています!

● 戸別募金：自治会を通じて、各家庭にお願いする募金です。
● 街頭募金：駅頭などで呼びかけられる募金です。
● 法人募金、職域募金：会社や労働組合などからの募金です。
● 校内募金：市内小中学校などからの募金です。
● その他の募金：地域のイベントでの収益金や、イベント時に設置させていただいた募金箱による募金などです。

10月1日から3月31日まで実施される共同募金。南足柄市支会では、今年度は650万円の募金額を目指に次のような募金活動を行ってまいります。

学校の募金箱で

▼小中学校に掲示を依頼するポスター



神奈川県共同募金会では、県内すべての社協でそれぞれのオリジナルバージョンのチラシを作っています。本市で集められた募金額や、活用されている事業が説明されています。市広報誌と一緒にポスタリング、または自治会を通じて配布されますので、ぜひご覧ください。

**共同募金会
「みんなあしがら」の
チラシに注目!**

不用品の整理処分

浄化槽から下水道への
切替工事

蜂の巣・害虫駆除

困ったら何でもご相談ください!
(引き取り費用がかかります)

私達は豊かなあしがら地域の自然と環境を守ります。

あしがら環境保全株式会社

本社営業所：南足柄市狩野486
TEL.74-0056(代)

営業時間 8:10~17:00(土曜午後・日曜・祝日は休み)



当事務所の特色 3つの柱

- ◇財産の管理、税金の相談
- ◇「成年後見」等のお手伝い
- ◇円満な相続及び相続対策のお手伝い



税理士法人 押田会計事務所

小田原事務所 〒250-0011
小田原市栄町1-11-16Mビル5F
TEL.0465-20-1170
横浜事務所 〒220-0005
横浜市西区南幸2-19-4折目ビル4F
TEL.045-313-1546
<https://www.oshidakaikei-tms.or.jp>

医療法人 おぎの整形外科・歯科



診療時間

整形外科	AM9:00~12:00
	PM3:00~6:00
歯科	AM9:00~12:00
	PM3:00~6:00
	土曜日のみ
	PM2:00~5:00

休診日 水・日曜・祝日

整形外科 TEL.0465-73-1100

歯科 TEL.0465-73-2288

〒250-0105神奈川県南足柄市関本750-1

<http://www.ogino.or.jp>

お・知・ら・せ

◆申込み・問合せ
ボランティアセンター
電話 72-2299・FAX 74-3276
※コロナウイルス感染状況により、
変更または中止の可能性があります。

要約筆記入門講座

～聞こえない人にどう伝えるの？～
要約筆記とは、耳の不自由な人に對して話す人の言葉をその場で要約し、手書きやパソコンで伝える手段のことです。

日時：①10月26日(水)②11月2日(水)
いずれも13:30～15:30

場所：りんどう会館 大会議室

内容：①聴覚障害者への理解②要約筆記体験

定員：①30名 ②15名

※②に参加する方は①の受講が必須です。

講師：要約筆記サークルこゆるぎ

対象：要約筆記に興味のある方、聞こえにお困りの方

参加費：無料

応募締切：10月19日(水)

※2日目にパソコンでの要約筆記をご希望の方はノートパソコンをご持参ください。

災害研修会

日時：11月21日(月)13:30～15:30

場所：りんどう会館 大会議室

内容：地震に備える

定員：30名

講師：新井 昇さん 小山町在住、元小山町防災監・危機管理監

参加費：無料

応募締切：11月14日(月)

令和4年度 介護に関する入門的研修 「基礎講座」

「家族の介護に悩んでいる」「自分の老後が心配」「地域での活動に役立てたい」等、介護に興味・関心のある方でしたら、どなたでも受講可。それぞれの目的にあったヒントや情報を学べる講座になっています。

内容：♥介護に関する基礎知識

- ・介護とは
- ・介護保険制度の概要
- ・介護に関する相談先

内容：♥介護の基本

- ・安全で安楽な体の動かし方
- ・介護予防、認知症予防の取り組み
- ・ボランティアなどの地域活動

日時：①11月23日(水・祝) ②11月25日(金) いずれも13:30～16:45※両日とも内容は同様

場所：りんどう会館 大会議室

定員：各日50名（会場25名、オンライン受講25名）

対象：市内にお住まいの方

服装：動きやすい服装で

参加費：無料

申込方法：11月11日(金)までに電話、FAX、ホームページ(Googleフォーム)

にて先着順 希望する日にち、受講方法(会場またはオンライン)をお伝えください。※オンライン受講(ZOOM)をご希望の方は、Googleフォーム

からお申込みください。

実施主体：神奈川県

運営主体：社会福祉法人神奈川県

社会福祉協議会

※介護の仕事をを目指す方向けの「入門講座」(4日間・23時間)は2月に実施予定です。詳細はあらためてお知らせします。



南足柄で育つ好奇心!

冬の寺子屋



①おやこ・お菓子福祉教室

日時：12月17日(土)10:00～14:00

場所：女性センター

定員：7組(14名)

講師：南足柄市身体障害者福祉協会

②工場見学に行こう！

日時：12月26日(月)9:30～13:00

場所：高部金属ときんたろう食堂

定員：20名

講師：株式会社高部金属の皆さん、

きんたろうワーカーズの皆さん

③昔遊びを体験しよう！～凧を作ろう

日時：1月6日(金)9:30～13:00

場所：りんどう会館及び南小校庭

定員：30名

講師：トンボの会の皆さん

※詳しくは、後日各小学校に配付されるチラシをご覧ください。

みなみのお福集め



～寄付品について～

社協が行っている食料支援で配付する食料および日用品の寄付を隨時受け付けています。

①食料品 ※未開封で賞味期限が半年以上あるものに限ります。

米、乾麺、レトルト食品、缶詰、調味料、菓子、飲み物類など

②日用消耗品 ※未使用品に限ります。

洗剤類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ラップ、アルミホイル、生理用品など

*品数は問いません。

*団体で取りまとめていただくことも可能です。

*その他ご不明点はお気軽にお問合せください。

りんどう便り



今年、我が家は大河ドラマにはまっています。なぜはまつたかといえば、ドラマに身近な場所が舞台となつて出てくるからです。「源頼朝が小田原の石橋山の戦いで敗れ、船で真鶴の岩海岸から逃れた」との話に大変親近感を抱いてしました。また、「坂東武者」という言葉がよく使われます。坂東とは足柄峠より東の国のことです、後には関東と呼ばれるようになりました。そして、源頼朝が当時の足柄に来たであろうことを示す伝説があります。一つは、頼朝の愛馬である磨墨が生まれ故郷に帰った喜びで、かん高いななう、私たちの住む「南足柄」は関東という地域の源なのです。また、源頼朝が當時の足柄に來たであつたことを示す伝説があります。一つは、頼朝の愛馬である磨墨が生まれ故郷に歸った喜びで、かん高いななう、私たちの住む「南足柄」は関東といふ伝説や、同じく頼朝が富士の巻き狩りで足柄峠を越す前夜、月見に邪魔な松の枝を家来に命じて曲げたところ、松の枝が肘のように曲がつたままになつてしまつたという「頼朝のひじ松」の伝説が地蔵堂にあります。こうした話から、いつもドラマを見ながら我が家では、約800年以上前の足柄は馬の生産が盛んだったのかなとか、頼朝や北条義時たちは多くの家来を連れて足柄を歩いていたのかなと空想にふけるのです。今年は夫婦でドラマの舞台の地を巡る季節は秋。ハイキングに最適な季節。